



11月園だより

令和4年11月1日
目黒区立原町保育園園長

朝夕の気温がぐっと下がり、一気に冬の気配が感じられるようになりましたが、子どもたちは元気に「いっ
てきま〜す」と散歩に出かけています。公園の広場で見つけたたくさんのどんぐりと子どもたちの笑顔、そし
て泥だらけのズボンがおみやげです。いっぱい楽しんできたことが伝わってきます。

秋は運動会と芋掘り遠足という二つの大きな行事がありました。両日とも前日の予報は雨でしたが、子ども
たちの祈りが込められた、てるてる坊主のおかげで晴天になりました。小学校の校庭での運動会も大型バスでの
芋掘りも初めての経験でしたが、子どもたちの笑顔からどちらも楽しかったことが伝わってきました。運動会
ではあらためて“子どもの力は無限大”であることを実感し、芋掘り遠足では友達同士協力しあいながら大き
な芋を掘り出すなど、心も体も成長が感じられる行事となりました。

11月20日は“家族の日”です。子どもを家族が育み、家族を
地域社会が支えることの大切さについて理解を深めてもらうために
内閣府が11月第3週の日曜日を“家族の日”その前後1週間
(13日~26日)を“家族週間”と決めました。年々、社会の
変化とともに家族の形も変わりつつありますが「一番大切なものは」
という問いに「家族」と答えた割合が増加しているという国の統計
結果が出ています。家族についての講演を受けたとき、講師の方は
「忙しい毎日でも、1日1回子どもの目を見ながら体に触れて名前
を呼んであげてほしい」「子どもに体と言葉で愛していることを伝えてほしい」と話していました。愛情のか
け方は時間より密度が大事とのこと。保育園でも様々な職種の大人同士が子どもたちの情報を共有しあい、
どの子どもにも目を向け、ご家族のみならずとも成長を支援していきたいと思えます。



🍁 11月の予定 🍁

お楽しみ会
身体測定・避難訓練

🍁 お知らせ 🍁

今年度、原町保育園はよりよい保育サービスの実施
を目指して、東京都福祉サービス第三者評価を実施し
ます。保護者の皆様にも利用者アンケートを実施させ
ていただきます。ご協力をお願いいたします。

楽しかった芋掘り遠足

前日まで天候が悪く「大丈夫かな」と心配をしていた子どもたちでしたが、思いが通じて待ちに待った芋掘
り遠足に出かけられました。バスの中から畑が見えると「あそこでお芋を掘るんだね」と期待に胸を膨らませ
ています。畑に向かい自分の掘る場所に着くとすぐに掘り始めました。土をかき分け、力を入れて掘ると「大
きいのが取れたよ」と芋を高く上げて得意気です。「すごく大きいね。
ここにもあるよ、掘ってみよう」と声をかけると、はりきって掘って
いきます。「このお芋が取れないよ、手伝って」という声が4歳児から
聞こえると「いいよ」と手伝ってくれる頼もしい5歳児の姿も見られ
ました。やっとの思いで掘り出すと、つるに芋が何個もつながっていま
す。「やったー。こんなに取れた」と大喜びで掘った芋の数を数えてい
ました。今年は、大きなお芋がたくさん収穫でき、子どもたちの頑張っ
た笑顔が印象的な芋掘り遠足でした。



運動会を終えて

運動会を終えた幼児クラスの子どもの様子をお知らせします。

さくら組（3歳児クラス） 『 ときどきしたうんどうかい 』

日頃から楽しんでいるサーキット遊びを取り入れて、大好きな“はらぺこあおむし”の絵本をもとに、表現遊びも歌に合わせて楽しむことができました。絵本をきっかけに、歌いながらページをめくって“ボン”ってうまれるよ」と両手を広げた子どもの動きを振り付けに取り入れたことで“自分たちで考えた”と楽しんで体を動かしていました。今も「はらぺこあおむしやろう」と言って、自分たちで列になって並び、曲中の♪お腹が痛くて泣きました♪という場面では、お尻を振りながら少しずつ座ったりと、大舞台上でできたという自信から一人ひとりがアレンジをして楽しんでいます。

ぽぷら組やくすのき組の様子もよく見ていて、大縄跳びも「できる」と言ってやってみたり、旗を持って「ゴーゴーゴー」と片手をあげたり「ラッセーラ」の振り付けも真似をするなど、楽しみながら運動会ごっこを行いました。はじめての運動会を経験して「ときどきしたけど、たのしかった」と自信がついてきているようです。



ぽぷら組（4歳児クラス） 『 かつこよかったでしょ 』

大縄跳び5回、片足ジャンプなどの海賊体験をクリアするために、遊びの中で楽しく体を動かしてきました。ダンスでは、2人組で動きを合わせる所が難しく、個別に練習を重ねて本番に臨みました。ドキドキしながらも笑顔で本番を終えた翌週に、乳児クラスの子もたちに踊りを見せる機会がありました。みんな自信に満ちあふれている表情を見て、本番をやりきったことが自信につながっていると実感した場面でした。また、印象に残ったことを描画にしながら「かけっこで2番だったんだ」「隣は〇〇ちゃん、その隣は…」「おんぶおばけに玉が入ったよ」と楽しそうに振り返り、描いていました。絵の具で色を塗り、完成した絵を満足そうに眺めている子どもたちです。円から2列への隊形変化や、2人組で向き合うなど友達と協力することで完成したダンスは、みごとに大成功でした。友達と一緒に楽しかった、できたという思いを毎日の遊びや次の活動の意欲に繋げていきたいと思えます。



くすのき組（5歳児クラス） 『 楽しかった運動会 』

運動会に向けて、日々練習を続けてきました。子ども同士で「竹打ち一緒に練習しよう」と誘い合い、「そーれ、すっとなすっとな…」と威勢の良い掛け声が響き渡るくらいに、子どもたちの気持ちが日に日に高まってきました。当日はたくさんの人に見てもらうことで、やり遂げられた嬉しい気持ちがより大きかったようです。

運動会を終えたあと「もう1回運動会したい」と子どもたちから声があがりました。何をしたいかを聞くと、さくら組やぽぷら組のダンスがしたいと意見がまとまりました。「先生は踊り方が分からないけれど、どうしようか」と言うので「私がお手本する」と早速前を出て、音楽に合わせて踊り始めます。隊形移動も完璧に覚えていて「2つの円になるよ」「こっちの人から、ここで円になろう」「ちがうよ、こっちからだよ」など、子ども同士で声かけしながら楽しんでいました。一人ひとりやり遂げた達成感と、友達と同じ目標に向かって気持ちを揃える経験を通して、これからの行事に向かっていく力がより育まれたようです。